

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和2年度第4回美里町生活支援体制整備協議会
- 2 開催日時 令和3年3月3日（水）午後1時30分から午後2時40分まで
- 3 開催場所 美里町駅東地域交流センター 大会議室
- 4 会議に出席した者
 - （1）委員 小野俊次会長、渡邊かおり副会長、角田フミコ委員、
佐々木義夫委員、松田正敏委員、菅原亨委員
 - （2）事務局 美里町長寿支援課 横山太一、菅井晶
美里町社会福祉協議会 永沼威雄、高橋ゆかり、青木真理
- 5 議題
 - （1）開 会
 - （2）会議録署名委員の選出
 - （3）報 告
 - ①いきいき百歳体操について
 - ②暮らしの安心サポートブックについて
 - ③わくや地域福祉フォーラムについて
 - ④生活支援コーディネーターの活動について
 - （4）協議事項
 - ①地域の支え合い活動応援事業（案）について
 - ②令和3年度生活支援体制整備事業計画（案）について
 - （5）その他

6 会議の公開・非公開の別
公開

7 非公開の理由

8 傍聴人の人数
0人

9 会議の概要

- ・会議録署名委員の選出
佐々木義夫委員、菅原亨委員

(1) 報告事項における詳細な意見

① いきいき百歳体操について、事務局高橋より説明	
	(特に意見なし)
② 暮らしの安心サポートブックについて、事務局高橋より説明	
	(特に意見なし)
③ わくや地域福祉フォーラムについて、事務局高橋より説明。	
小野会長	盛りだくさんな内容であったと思う。オンラインでの研修はやはり実際の会場とは様子が異なるなど感じました。 お助け隊については、行動を起こすことができることがすごいと思います。良い刺激になり、参考になりました。
菅原委員	レベルが高い報告内容であったと思う。あれは理想であるとは思いますが、美里町の地区それぞれができることからやれば良いと思う。動いてくれる人をどこまで引っ張ることができるかだと思う。
④ 生活支援コーディネーターの活動について、事務局高橋より説明	
	(特に意見なし)

(2) 協議事項における詳細な意見

①地域の支え合い活動応援事業(案)について、事務局高橋(ゆ)より説明。	
小野会長	地域の支え合い活動応援事業というタイトルについてこれではよろしいでしょうか。対象、内容を見ながら考えていきたいと思います。 対象が行政区、自治会、町内会、行政区単位ということではありますが、

	あまり多くなく、2つ、3つの地区が「私の地区でモデル事業やるよ」と手を挙げてもらえれば一番良いというところです。そのために PRが必要であるということですが、PRには、3月にチラシを作成し、5月に行政区長定例会議で周知、6月には「おげんきですか。」に掲載するという事です。やはり行政区単位ということであれば、一番中心になって動くのは行政区長であると思うので、5月の行政区長定例会議で提案、周知を行うことはとても良いと思います。
高橋	行政区長定例会議では、基本的に町の事業以外のものを話すことは難しいようであり、会議が終了してから社協で時間をもらうか、長寿支援課として会議の中で話をするのであれば良いのですが。
横山	長寿支援課内、総務課とも協議し、1枠設けて会議内で長寿支援課から話をし、社会福祉協議会からも話をしてもらうという形をとれば良いのかと思います。「その他」ではなく、会議の中で話をするのできるほうがより良いのかなと思うので、調整していきたいと思います。
小野会長	そうですね。もし、それができないようであれば、私から話をしても良いかと思っていました。以前も、会議全てが終了してから社会福祉協議会から説明をしたことがありました。みんな話は聞いているが、やはり会議の中に入れてもらうと良いかと思います。ただ、周知であり議題ではないので、「その他」の中に入ることになるのでしょうか。
横山	そこは確認してみないとわからないところなので、確認してみます。
小野会長	確かに、役場の議題として取り上げるような内容ではないと思うのですが。
横山	そのあたりの話し方についても、総務課の行政区長定例会議の担当者、課長とも相談していきたいと思います。
小野会長	「生活支援体制整備協議会でこのようなことを行いたいんだけど、行政区で賛同いただける方は申し込んでください」という簡単なことで良いと思います。どのようなことを話したいと思っていますか。
高橋	このような事業があるので、良かったら手を挙げてくださいというような内容です。また、言葉だけではイメージが付きにくい事業であると思うため、チラシにイラストなどを入れたりしながらわかりやすく、工夫しようと思っていました。
小野会長	そうですね。わかりやすいチラシを作って、PRするのは良いと思います。私も生活支援体制整備協議会の委員であるので、私からも声をかけようと思います。

角田委員	そもそもこの事業は、国、町が絡んでいるということをしっかり伝えてほしいです。また、強くアピールしてほしいです。社会福祉協議会が行っているものだと、申し訳ないですが、行わなくても良いのかと聞き流してしまう行政区長もいると思います。行政区長の中でも、区長という立場として、町から言われた仕事だからやるという人も実際にいます。そのため、町も関わっているんですよ、町からの依頼でもあるんですよというところを言っていたきたいです。
佐々木委員	この事業はもともとは町が行うことを社会福祉協議会に委託して行っているものですね。そこをある程度理解してもらうような内容をお話しできると良いと思います。
横山	そうですね。基本的には、町の方での関わりで行っている事業であり、社会福祉協議会に委託しているというところです。行政区長への伝え方の工夫をしたいと思います。
小野会長	町の、長寿支援課から話をしてもらうということで調整をお願いします。
横山	「その他」のところで話をするにしても、町で行っている事業であるということがしっかり伝わるように、行政区長の腑に落ちるように、しっかり受け止めてもらえるような伝え方、説明が大事だと思っています。
小野会長	はい。それでは、内容の方はどうでしょうか。 対象事業が大きく3つあり、4つ目は高齢者を支える取り組み等ということですが、この中から対象事業を選んで行うということで良いのでしょうか。
高橋	まず最初に、行政区で話し合う場を設けて、地域の課題は何かというところを出してもらおうかなと思っていました。その話し合いの中で、例えばですが、課題は介護予防だよねということであれば、それについて実施していくという流れです。ただ、課題は1つに限らなくても良いと思っています。介護予防でもあるし、生活支援、生活の困りごとに対応していく仕組みを作っていくことができると良いねということも一緒に考えていくことができると良いと思っています。
小野会長	そのような計画を立てて、実施してもらおうということで良いですか。
高橋	地域課題として何が出てくるのか分からないため、その他の高齢者を支える取り組み等ということで、全体的に対応できるような言い回しにしています。
小野会長	どの行政区にも地域課題はあり、共通している部分は多くあると思います。

	そこで、特に自分たちの行政区は、この問題、課題について考えていきたいということです。これは1年間計画で良いでしょうか。
高橋	そうですね。4の実施期間にもあるが、7月から2月までとしていますが、活動の進捗具合によって、次年度も継続していくこともできるようになっています。なかなか1年間で成果が出るかどうかかわからないというところでもあるので、臨機応変に対応していくことができればと思っています。
小野会長	他に何か質問等はありませんか。 タイトルはこれで良いだろうか。「応援」という言葉が引っかかりますが。
角田委員	では、支え合い「支援」事業にしますか。
佐々木委員	「支援」だとなんだか、内容と違うような気がします。
小野会長	簡単に言えば、地域の助け合い活動だと思うので、「助け合い活動」でどうでしょうか。人それぞれの捉え方だと思いますが。「応援」と聞くと、自分は何もしないで応援するよというようにしか捉えられない部分があります。
角田委員	地域の方がやる活動を応援する、主体はあくまで地域住民ですよという意味であり、それで「応援」なのだろうと思っていました。支え合い活動だけにしてしまうと、活動だけで終わってしまうような気がします。社会福祉協議会が入って一緒にやっていく事業であるので。なにか言葉があると良いですが。
小野会長	「応援」という言葉が引っかかります。応援となると、何もしないで応援だけしているというようなイメージがあります。一緒にやる、助け合うということではないのでしょうか。
高橋	涌谷町の場合だと、「モデル」という言葉を使っていたりしています。また、よく最近聞くのが、「伴走型」という言葉もあります。一緒にやっていくという意味です。
小野会長	支え合い活動モデル事業？
高橋	それもイメージがつきにくい名前になるかもしれません。
永沼	よく使われている言葉は、「支援」や「推進」等があります。「〇〇支援事業」や「〇〇推進事業」等よく耳にするとおもいます。「応援」という言葉は、捉え方として確かに、風を送るだけ、声を送るだけで何もしないのかという捉え方もあるとおもいます。「伴走型」という言葉もなかなか使いにくいところもありますが。
小野会長	「支援」という言葉、「支援事業」というのはとても慣れている言葉です。なので、「活動支援」で良いかとおもいますが。

高橋	個人的な意見ですが、「支援」だと上から目線な感じがしてしまうため、「応援」としていたところはありました。支え合い活動を作っていきたいということが伝わると良いと思うのですが。
菅原委員	目的の中にも書いてあるように、自治会または町内会を対象にモデル地区として指定すると謳ってあるので、そこから引っ張って「地域支え合い活動モデル地区事業」というのもどうかと思ったのですが。
佐々木委員	シンプルに、簡単に「地域の支え合い事業」というのはどうでしょうか。自発的にやっていってほしいという気持ちがあるのであれば、「支援」というような言葉をあえて入れないという選択もあるかなと思いました。入れてしまうと、やってくれるんだなというような気持ちになる可能性もあると思います。
小野会長	「地域の支え合い活動モデル事業」でどうでしょうか。 応援という言葉がモデルに変わりました。よろしいでしょうか。
佐々木委員	「地域の支え合いモデル事業」ではどうでしょうか。活動という言葉はなくても良いかと思います。
小野会長	「地域の支え合いモデル事業」でよろしいでしょうか。
菅原委員	支え合いがメインであるから良いと思います。
小野会長	「地域の支え合いモデル事業」と非常に簡単なタイトルとなりました。十分伝わると思います。それでは決定とします。 その他、対象事業の内容についてはよろしいでしょうか。
	(特に意見なし)
小野会長	これをうまく集約して、行政区長へ伝えてください。
高橋	今年度の生活支援体制整備協議会が本日で最後です。来年度の1回目の協議会の予定が、5月の予定としておりました。募集のチラシの作成をこれから、3月に行っていくのですが、みなさんに確認していただく場を設けることが時期的に難しくなってしまいましたが、そのあたりはどうでしょうか。
	(特に意見なし)
小野会長	お任せます。よろしくお願ひします。 第1回目は行政区長定例会議が終わってからとなりますか。
高橋	行政区長定例会議の前の方が良いでしょうか。 生活支援体制整備協議会を行政区長定例会議の前に開催してもよろしいでしょうか。
	(特に意見なし)
小野会長	それでは、令和3年度事業計画案に移ります。
②令和3年度生活支援体制整備事業計画(案)について、事務局高橋より説明	

小野会長	令和3年度生活支援体制整備事業計画についてご質問、聞きたいことがあれば、お願いします。
角田委員	やってみましょうという意見です。
小野会長	何かあれば、声をかけていただければ、私たちはバックアップしたいと思っています。
高橋	「おげんきですか。」は、ページ数が減ってしまうので、お宝紹介をメインにしていきたいと思っています。紙質も少し落ちる予定です。
小野会長	内容を絞って掲載していくことができると良いと思います。地域の方は結構「おげんきですか。」を見ていると思います。文字も大きいので見やすいという声もあります。 他に何かありませんか。
	(特に意見なし)
小野会長	ないようなので、令和3年度はこのような事業計画の内容で進めていければと思います。よろしくお願いします。 以上で協議を終了します。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委 員 _____

委 員 _____